

課題名「トリメトプリム, スルファメキサゾール合剤による 副作用のリスク因子探索」について

○ 研究の意義・目的

ST 合剤は種々の感染症の治療や予防に使用される抗菌薬です。この薬剤は血液中のカリウム濃度の上昇を引き起こすことが知られており、これはごく稀に生命に危険を及ぼす水準に達することもあります。この副作用の発現と投与方法や併用薬、患者さんの背景との関連性を検討するため、この研究を計画しました。

○ 研究対象者

2008 年 1 月から 2014 年 12 月までの期間に、広島大学病院で ST 合剤経口剤「バクタ配合錠・同配合顆粒」の投与を受けた方を対象とします。

○ 研究方法

本研究は、全て診療録(カルテ)情報を転記して行います。

カルテから転記する内容は、性別、年齢、疾患名、ST 合剤処方歴(用量用量、施用期間)、併用薬、血液検査結果、及びこれらに関する所見の記載、転帰です。(個人特定に繋がる情報は転記しません)

○ 研究期間 委員会承認後～2019 年 3 月 31 日

○ 個人情報の保護について

調査内容は、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。

* 研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。これにより今後の診療等に不利益が生じることはありません。

不明な点がございましたら下記までお問い合わせください。

お問い合わせ先

〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3

広島大学病院 薬剤部

教授・薬剤部長 松尾裕彰(研究責任者)

薬剤主任 富田隆志(研究担当者)

電話番号:082-257-5572